

このたびは、産業用無線 LAN アダプタ DAP-P2 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

DAP-P2 は産業環境下でも接続信頼性の高い、機能豊かな産業用無線 LAN アダプタです。PoE 機能に対応し、DC パワーサプライを設置しにくい場所でも LAN ケーブル 1 本で簡単に導入できます。IEEE802.11n 無線 LAN 規格に準拠した 300Mbps の高速通信が可能です。

本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に本書及びユーザーズマニュアルをよくお読みください。

▶▶ユーザーズマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

www.diatrend.com | 「TOP」ページ → 「ダウンロード」 → 「マニュアル」 → 「DAP-P2 ユーザーズマニュアル」

### 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  - 特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  - などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線カードやアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。

社団法人・・・電子情報技術産業協会（JEITA）  
無線 LAN のセキュリティに関する注意事項 第 1 版

★本製品の仕様、デザイン、マニュアルの内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。★このマニュアルに記載された仕様等は 2025 年 9 月現在のものです★Diatrend はダイアトレンド株式会社の登録商標です。★その他の記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。★本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。

最新情報については弊社ホームページをご覧ください。製品情報も提供しております。

お寄せいただく質問の中で多いものを「よくあるご質問 FAQ」として掲載しておりますのでご利用ください。（「TOP」→「お問い合わせ・サポート」）  
https://www.diatrend.com/toiawase3.htm

■ダイアトレンドホームページ [www.diatrend.com](http://www.diatrend.com)


## ダイアトレンド株式会社


〒530-0011 大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪タワーB 28F  
商品購入に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9339  
東京 (03) 4589-8002  
技術に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9444  
東京 (03) 4589-8001  
e-mail [info@diatrend.com](mailto:info@diatrend.com)

## 安全に関するご注意


お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。ご使用の際は必ずお守りください。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。


 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

**危険** この表示の欄は「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。


 パソコンや周辺機器の指示する警告、注意を厳守する  
動作不良の原因になります。


 分解、改造、直接半田付けしない  
発熱・発火・破裂のおそれがあります。


**警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 本体を水等に浸したり、濡れた手で触れたりしない  
感電のおそれがあります。

**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 強い衝撃を与えない  
本製品は精密電子機器ですので故障の原因になります。

 煙が出たり、変なにおいがするときは電源を抜く  
火災の原因になります。お買い上げ販売店または弊社に修理を依頼してください。

 取り付け、取り外し時は電源を切ってから行う  
感電や故障の原因になります。

## 製品に関するご注意

DAP-P2 は日本の電波法における「小電力データ通信システムの無線局の無線設備」として技術基準適合証明を受けているため、無線免許は必要ありません。

また、DAP-P2 は日本国内の電波法により認定を受けたものであるため海外では使用できません。

DAP-P2 を分解及び改造する、本体に貼ってある証明ラベルを剥がす等の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

## 安全に関する警告

- 安全を確保し、DAP-P2 を適切に設定するために、この安全に関する警告をお読みください。
- 初めて DAP-P2 を設定する場合、安全のため非常時に対応できる方の協力を得てください。
- 安全上及び正常な動作のために、電力線や電話線から離して設置してください。
- DAP-P2 を安全に設置するために、設置の前に後述の「設置に関する警告」をお読みください。
- システムの動作中は、正面に立たないでください。伝送時に強い磁界が発生します。

## 設定に関するご注意

無線及びネットワークについての詳しい知識が必要です。無線及びネットワーク設定に詳しい管理者がセットアップを行ってください。

## 設置に関する警告

- DAP-P2 を正しく設置するため、この設置に関する警告をお読みください。
- DAP-P2 を設置する際、次のことに注意してください。
  - 金属製のはしごを使用しないでください。
  - 雨の日や風の強い日には設置しないでください。
  - 絶縁性の靴、手袋を使用し、長袖のシャツまたはジャケットを着用して設置してください。
- DAP-P2 周辺に避雷器を設置することで、雷による故障が軽減される可能性があります。雷による故障は保証できません。
- DAP-P2 への電力供給には付属の AC アダプタ + 専用 PoE アダプタの組み合わせのみ対応しています。他のものを使用すると故障するおそれがあります。
- 標準アンテナを取り付ける際は必ず電源を切った状態で行ってください。
- 標準アンテナを取り付ける際は、標準アンテナとアンテナコネクタの間にワッシャを取り付けてください。
- DAP-P2 は 2.4GHz 帯の無線電波を使用するため電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局等に対して電波干渉を起こすおそれがあります。万一 DAP-P2 を使用した際に電波干渉が生じた場合、DAP-P2 の使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上で、干渉が起らないようパーティションで区切る等の処置を行ってください。
- DAP-P2 を設置する場合は、電気溶接機等の強いノイズを発生させる機器の近辺に設置しないでください。
- DAP-P2 下部にあるカバーを外し、アース端子のねじに付属のアース線を接続することで電磁ノイズに関する問題の解決ができることがあります。

## 概要

本書では、DAP-P2 の接続に関する基本的な設定について説明します。詳細な設定方法、設置方法、取り扱い及び各機能につきましては弊社ホームページより DAP-P2 ユーザーズマニュアルをダウンロードしてご確認ください。

また、本書は DAP-P2 が工場出荷直後の初期値の状態での手順を説明しています。設定変更後に再度本書に沿って設定を行う場合は、変更した設定（IP アドレス等）に置き換えてお読みいただくか、設定を工場出荷値に初期化してから設定してください。設定を工場出荷値に初期化する場合は、DAP-P2 の電源が入った状態でリセットスイッチを 5 秒以上長押ししてください。リセットスイッチは DAP-P2 下部のカバー内にあります。

## ■特長

- Windows 10/8.1/8/7/Vista に対応
- IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 規格に準拠（電波周波数：2.4GHz）
- IEEE802.3u 規格に準拠
- 最大 300Mbps の高速通信をサポート
- 2 × 2 MIMO 技術対応
- 最長 2km までの長距離通信をサポート（※ 1）
- アクセスポイントモード、ワイヤレスクライアントモード、ブリッジリピーターモード、AP リピーターモードをサポート
- パッシブ PoE（24V）による電源供給（※ 2）
- IP55 の保護構造により耐環境性に優れる
- 64/128/152bit WEP、WPA、WPA2、WPA&WPA2、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-PSK&WPA2-PSK の無線 LAN セキュリティ規格及び IEEE802.1X 認証に対応
- Web ブラウザによる簡単設定
- ネットワーク管理のための SNMP MIB-II をサポート
- Auto MDI/MDI-X 機能に対応
- スパンニングツリー（STP）及び IGMP スヌーピングプロトコルをサポート
- ポール取り付け、壁掛け取り付け可能

## ■パッケージ内容

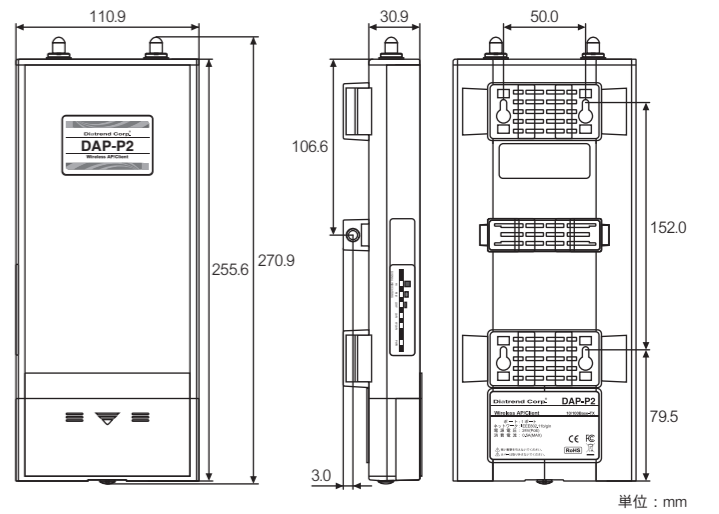
ご使用前に、下記に記載された項目が梱包されているか、また製品の状態を確認してください。

- DAP-P2 1 台
  - 専用 PoE アダプタ / AC アダプタ 1 セット（注 1）
  - 標準アンテナ 2 個（注 2）
  - ポール取り付けリング 2 個
  - フェライトコア 1 個
  - アース線（Y/G）1 本
  - ワッシャ 2 個（注 3）
- 万一不足がございましたら、お買い上げ販売店または弊社までご連絡ください。
- シリアル No. は背面シールに記載しております。

## ■仕様

ネットワーク規格	ワイヤレス イーサネット	IEEE802.11b/g/n IEEE802.3u
電波周波数	2.4GHz	
伝送速度（MAX）	2.4GHz イーサネット	300Mbps 11n 時 100Mbps
ポート数		RJ-45：1 ポート（パッシブ PoE）
標準アンテナ（注 2）		5dBi 無指向アンテナ 2 本
ユーティリティソフトウェア		設定ユーティリティ （Web ブラウザからアクセス）
対応 Web ブラウザ		Google Chrome、Mozilla Firefox
セキュリティ		WEP、WPA、WPA2、WPA&WPA2、IEEE802.1X 認証
電源		パッシブ PoE 受電 （専用 PoE アダプタ）（最大 50m）
専用 PoE アダプタ（注 1）		入力 100 ~ 240V（AC アダプタ）（※ 4） 出力 DC24V/1.0A（AC アダプタ）
消費電力（MAX）		12W
MTBF		62,618 時間
適合規格		TELEC、EN55022/24、EN60950、EN61000-4-2、EN61000-4-3、EN61000-4-4、EN61000-4-5、EN61000-4-6、EN61000-4-11、FCC 15B/C、EN300328 V181、EN301489 -1/-17
取付方法		ポール取り付け、壁掛け取り付け
動作温度		-20 ~ 70℃
保存温度		-40 ~ 70℃
動作湿度		10 ~ 95% RH、結露なきこと
保存湿度		10 ~ 95% RH、結露なきこと
保護構造		IP55
外形寸法（W × D × H）		110.9 × 30.9 × 255.6mm （アンテナ部及び突起部含まず）
本体重量		520g（アンテナ及び付属品含まず）

## ■外形図



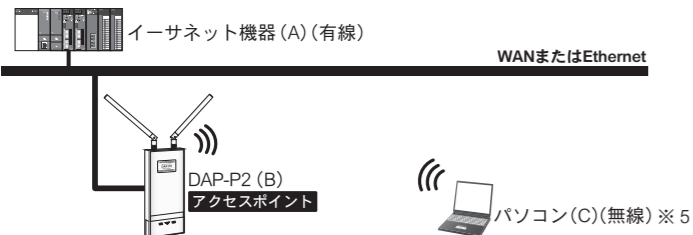
※付属アンテナ取り付け時の寸法についてはホームページの外形図をご確認ください。

- （注 1）付属の PoE アダプタは DAP-P2 以外に使用しないでください。
- （注 2）指定のアンテナ以外のご使用は電波法違反となります。また、電波法は日本国内のみ取得しています。ワッシャなしでのアンテナの接続は、アンテナが破損する原因になります。
- （注 3）ワッシャなしでのアンテナの接続は、アンテナが破損する原因になります。
- （※ 1）DAP-P2 同士の通信で付属のアンテナを使用、802.11n HT20 MCS0 の設定の場合の最長通信距離です。通信距離はご使用の環境により大きく変化するため保証値ではありません。
- （※ 2）付属の専用 PoE アダプタのみ対応しています。専用 PoE アダプタを使用する場合は、最長 50m まで PoE 接続可能です。
- （※ 3）アンテナの放射パターン図面についてはユーザーズマニュアルの「付録 アンテナ放射パターン」をご参照ください。
- （※ 4）AC アダプタは～ AC240V の対応ですが付属の AC コードは～ 125V までとなっております。

## 設定

各モードで使用する場合の DAP-P2 及び接続する周辺機器の IP アドレス設定までの手順について説明します。(※4)  
各機能の詳細についてはユーザーズマニュアルをご参照ください。また、セキュリティに関する設定も行ってください。

### 1 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合



#### 【DAP-P2 の設定箇所】

- ワイヤレスモード：アクセスポイントモード
- ネットワークモード：ブリッジ
- IP アドレス：任意
- SSID：任意

1. 接続するイーサネット機器、DAP-P2、パソコンに割り当てる IP アドレスを決めます。(※4) (※6)

(例) イーサネット機器 (A) (有線) : 192.168.0.2  
DAP-P2 (B) : 192.168.0.10  
パソコン (C) (無線) : 192.168.0.20  
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

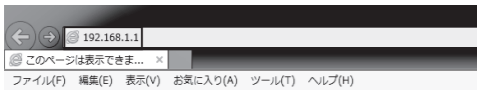
2. 接続するイーサネット機器 (A) の IP アドレスを設定します。例として今回は「192.168.0.2」に設定します。イーサネット機器の IP アドレスの設定方法はご使用のイーサネット機器の取扱説明書等でご確認ください。

3. DAP-P2 (B) と専用 PoE アダプタを LAN ケーブルで接続してください。このとき、**専用 PoE アダプタの「PoE」と記載のあるポートを DAP-P2 に接続してください。**(※7)

4. パソコンと専用 PoE アダプタを LAN ケーブルで接続してください。このとき、**専用 PoE アダプタの「LAN」と記載のあるポートをパソコンに接続してください。**(※7)

5. パソコンから DAP-P2 (B) にアクセスするため、パソコンの「ローカルエリア接続」(有線) で使用する IP アドレスを DAP-P2 (B) と同じネットワーク上に設定してください。このとき、DAP-P2 (B) の IP アドレス(初期値：192.168.1.1) と同じ IP アドレスは設定できません。例として今回はパソコンの IP アドレスを「192.168.1.10」に設定します。

6. DAP-P2 (B) の電源を入れてください。Web ブラウザを起動し、アドレスバーに DAP-P2 (B) の IP アドレス (初期値：192.168.1.1) を入力してください。



7. 設定ユーティリティが起動しますので、ユーザー名 (初期値：admin) とパスワード (初期値：admin) を入力し、「ログイン」をクリックしてください。ログインするとインフォメーション画面が表示されます。



8. DAP-P2 (B) の工場出荷値は「ワイヤレスモード」が「アクセスポイント」に、「ネットワークモード」が「ブリッジ」に設定されているため、IP アドレスのみ設定を行います。「システム」タブ-「TCP/IP 設定」から「固定 IP アドレス」を選択して IP アドレスを設定値「192.168.0.10」に設定します。「適用」をクリックし設定を完了してください。

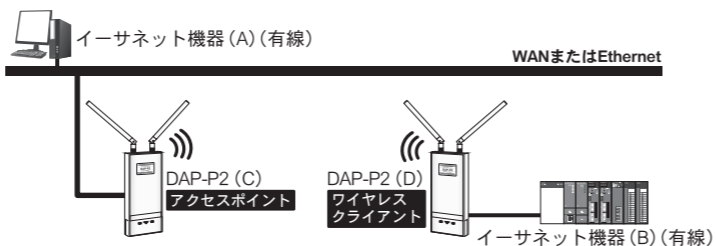


9. 使用するイーサネット機器 (A) と専用 PoE アダプタを LAN ケーブルで接続してください。このとき、**専用 PoE アダプタの「LAN」と記載のあるポートをイーサネット機器に接続してください。**(※7)

10. DAP-P2 (B) の IP アドレスを設定した後、パソコン (C) の「ワイヤレスネットワーク接続」(無線) で使用する IP アドレスを設定値「192.168.0.20」に設定します。

以上で設定は完了です。パソコン (C) の無線 LAN アダプタを使用して DAP-P2 (B) の SSID「Wireless」に接続すれば、イーサネット機器 (A) と接続できます。

### 2 有線イーサネット機器同士を無線で接続する場合 ～アクセスポイント/ワイヤレスクライアント編～



#### 【DAP-P2 の設定箇所】

- ワイヤレスモード：アクセスポイント/ワイヤレスクライアントモード
- ネットワークモード：ブリッジ
- IP アドレス：任意
- SSID：任意

1. 接続するイーサネット機器、DAP-P2 に割り当てる IP アドレスを決めます。(※4) (※6)

(例) イーサネット機器 (A) (有線) : 192.168.0.2  
イーサネット機器 (B) (有線) : 192.168.0.30  
DAP-P2 (C) : 192.168.0.10 (アクセスポイント)  
DAP-P2 (D) : 192.168.0.11 (ワイヤレスクライアント)  
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

2. イーサネット機器 (A) と「アクセスポイント」モードで使用する DAP-P2 (C) の設定については設定用のパソコンを用いて行ってください。設定については、「**1 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合**」の 1～9 をご参照ください。

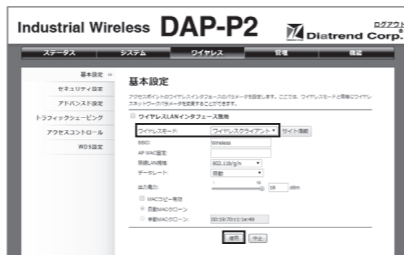
3. イーサネット機器 (B) の IP アドレスを設定値「192.168.0.30」に設定してください。

4. 「ワイヤレスクライアント」モードで使用する DAP-P2 (D) を「**1 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合**」の 1～7 までの手順で設定し、設定ユーティリティにログインしてください。

5. 「システム」タブ-「TCP/IP 設定」から「次の IP アドレスを使う」を選択して DAP-P2 (D) の IP アドレスを設定値「192.168.0.11」に設定します。「適用」をクリックし設定を完了してください。

6. 設定用のパソコンの IP アドレスを「192.168.0.X」(この場合 X は 0、2、10、11、30、255 以外の 1～254 の値) に設定します。Web ブラウザを起動して、アドレスバーに手順 5 で設定した DAP-P2 (D) の IP アドレス「192.168.0.11」を入力し、再度設定ユーティリティにログインしてください。

7. 「ワイヤレス」タブ-「基本設定」で、「ワイヤレスモード」を「アクセスポイント」から「ワイヤレスクライアント」に変更します。「適用」をクリックしてモードを変更してください。

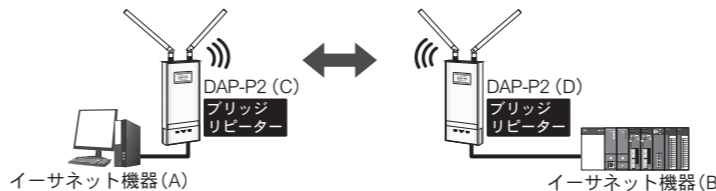


8. DAP-P2 (C) と DAP-P2 (D) の工場出荷値は SSID が「Wireless」になっているため、手順 6 で行った DAP-P2 (D) の設定が適用された後、自動的に DAP-P2 (D) が DAP-P2 (C) に接続します。「ステータス」タブ-「接続リスト」で接続先の DAP-P2 の MAC アドレスが表示されていれば接続成功です。(※8)



以上で設定は完了です。DAP-P2 (D) と設定用のパソコンを接続している LAN ケーブルを設定用のパソコンから外しイーサネット機器 (B) に接続すれば、イーサネット機器 (A)、(B) 同士の通信が可能です。このとき、**専用 PoE アダプタの「LAN」と記載のあるポートをイーサネット機器に接続してください。**(※7)

### 3 有線イーサネット機器同士を無線で接続する場合 ～ブリッジリピーター編～



#### 【DAP-P2 の設定箇所】

- ワイヤレスモード：ブリッジリピーターモード
- ネットワークモード：ブリッジ
- IP アドレス：任意
- MAC アドレス：DAP-P2 背面に MAC アドレスを記載したシールが貼られています。



1. 接続するイーサネット機器、DAP-P2 に割り当てる IP アドレスを決めます。(※4) (※6)

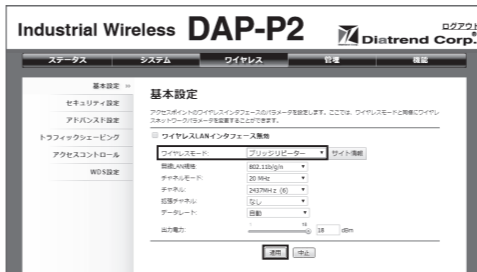
(例) イーサネット機器 (A) : 192.168.0.2  
イーサネット機器 (B) : 192.168.0.30  
DAP-P2 (C) : 192.168.0.10  
DAP-P2 (D) : 192.168.0.11  
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

2. イーサネット機器 (A) の IP アドレスを設定した後、DAP-P2 (C) の設定を行うため設定用のパソコンを用いて「**1 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合**」の 1～7 までの手順で設定し、設定ユーティリティにログインしてください。

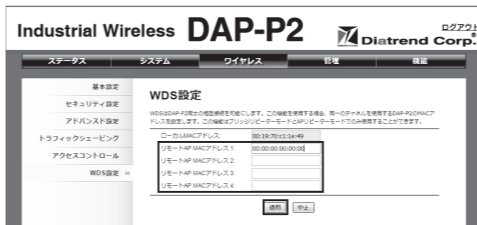
3. 「システム」タブ-「TCP/IP 設定」から「次の IP アドレスを使う」を選択して DAP-P2 (C) の IP アドレスを設定値「192.168.0.10」に設定します。「適用」をクリックし設定を完了してください。

4. 設定用のパソコンの IP アドレスを「192.168.0.X」(この場合 X は 0、2、10、11、30、255 以外の 1～254 の値) に設定します。Web ブラウザを起動して、アドレスバーに手順 3 で設定した DAP-P2 (C) の IP アドレス「192.168.0.10」を入力し、再度設定ユーティリティにログインしてください。

5. 「ワイヤレス」タブ-「基本設定」で、「ワイヤレスモード」を「アクセスポイント」から「ブリッジリピーター」に変更します。「適用」をクリックしてモードを変更してください。



6. 「ワイヤレス」タブ-「WDS 設定」から、接続先の DAP-P2 (D) の MAC アドレスを「リモート AP MAC アドレス 1～4」のいずれかに入力します。「適用」をクリックし設定を完了してください。DAP-P2 の MAC アドレスの値は、DAP-P2 背面に MAC アドレスを記載したシールが貼られていますのでご確認ください。(表記例 MAC : 00D0C9A6083E) (※9)



7. DAP-P2 (D) も IP アドレスの設定、「ワイヤレスモード」を「ブリッジリピーター」への変更及び「WDS 設定」でリモート AP MAC アドレスの設定を行ってください。

8. イーサネット機器 (B) の IP アドレスを設定値「192.168.0.30」に設定してください。

以上で設定は完了です。DAP-P2 (C) にイーサネット機器 (A) を、DAP-P2 (D) にイーサネット機器 (B) を接続すれば、イーサネット機器 (A)、(B) 同士の通信が可能です。このとき、**専用 PoE アダプタの「LAN」と記載のあるポートをイーサネット機器に接続してください。**(※7)

(※4) LAN ケーブルは付属していません。下記の LAN ケーブルをご用意ください。

- ・カテゴリ 5e 以上
  - ・ストレートケーブルまたはクロスケーブル
- (※5) IEEE802.11b/g/n 無線 LAN に対応したパソコンをご使用ください。  
(※6) IP アドレスは設定例です。お客様のご使用になる環境に合わせてアドレス、サブネットマスクを割り当ててください。  
(※7) 接続ポートを間違えないでください。システムが故障する原因になります。  
(※8) 接続ができない場合は各 DAP-P2 を再起動して接続をやり直してください。  
(※9) リモート AP MAC アドレスは 2 桁ずつ「: (コロン)」で区切って半角英数字で入力してください。(例 00:d0:c9:a6:08:3e) 大文字、小文字どちらでもかまいません。

各機能の詳細についてはユーザーズマニュアルをご参照ください。また、セキュリティに関する設定も行ってください。ユーザーズマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

## アフターサービスについて

### ■アフターサービス

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証規定の内容に基づき修理致します。修理の際は、お買い上げ販売店または直接弊社にご依頼ください。

### ■保証規定

- ①保証期間は弊社から出荷して 12 ヶ月とします。
- ②保証期間内に正常なご使用状態で万一故障した場合には、無償で修理致します。
- ③保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
  - (1) 取り扱い上の誤りによる故障及び損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧等による故障及び損傷
- ④次のような場合、有償でも修理できない時があります。
  - (1) 修理価格が高額になる場合
  - (2) 不当な改造や修理による故障及び損傷
  - (3) マニュアルに記載されていない方法で使用された場合

⑤弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害及び第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。

⑥本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っていません。海外への持ち出しに関しましてはお客様の責任において法令に従い実施されるものと致します。

本製品は外国為替及び外国貿易法の「リスト規制品」に該当しません。日本国外への持ち出しの際も、国連武器禁輸国・地域 (輸出令別表第 3 の 2 の地域) を除き、輸出許可申請は必要ありません。本製品はキャッチオール規制の対象である輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当します。キャッチオール規制で定められている要件に該当する場合は輸出許可が必要です。

【安全保障貿易管理関連について】  
経済産業省 安全保障貿易管理 (<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/index.html>)  
財団法人 安全保障貿易情報センター (<https://www.cistec.or.jp/>)

注意：電波法は日本国内のみ取得しています。